

## 演習問題 2

問題 1 2 枚の硬貨、100 円玉と 10 円玉を同時に投げる試行を行う。

1. このとき、起りうるすべての場合の数はいくつか。
2. 上記の場合をすべて列挙せよ。場合の表し方としては、(100 円玉の面、10 円玉の面) のように書くことにする。例えば、100 円玉が表で、10 円玉が裏の場合は、(表、裏) と書く。
3. 起りうるすべての場合について、同様に確からしいとする。
  - (a) すべて表となる確率はいくらか。
  - (b) 1 枚が表、他が裏となる確率はいくらか。

問題 2 1 枚の硬貨を続けて 3 回投げる。

1. このとき、起りうるすべての場合の数はいくつか。
2. 上記の場合をすべて列挙せよ。
3. 起りうるすべての場合について、同様に確からしいとする。
  - (a) 3 回続けて表がでる確率はいくらか。
  - (b) 表が 2 回でる確率はいくらか。
  - (c) 表が 1 回でる確率はいくらか。
  - (d) 表が 1 回もでない確率はいくらか。

問題 3  $a, b$  2 人がじゃんけんを 1 回する。

1. 起りうるすべての場合の数を求めよ。
2.  $a$  が勝つ確率を求めよ。
3.  $b$  が勝つ確率を求めよ。
4. 「あいこ」となる確率を求めよ。